

國語問題協議會主催

秋の國語講演會

御案内

百漢字 本字 略字一覽表

據 抛 096	亂 乱 091	處 処 086	顯 顯 081	收 収 076	狀 状 071	點 点 066	豫 予 061	獨 独 056	肅 肅 051
擔 担 097	圍 围 092	圖 图 087	假 仮 082	敍 叙 077	兩 両 072	與 与 067	餘 余 062	縣 県 057	數 数 052
缺 欠 098	歸 帰 093	兒 児 088	體 体 083	爲 為 078	產 産 073	參 参 068	罐 缶 063	價 価 058	戀 恋 053
盡 尽 099	對 対 094	寫 写 089	寶 宝 084	曉 暁 079	乘 乗 074	從 従 069	畫 画 064	聽 聴 059	變 変 054
晝 昼 100	稱 称 095	臺 台 090	當 当 085	遲 遅 080	拜 拝 075	將 将 070	舊 旧 065	藏 蔵 060	爭 争 055

區 区 046	淺 浅 041	燈 灯 036	樂 楽 031	邊 辺 026	號 号 021	廣 広 016	傳 伝 011	澤 沢 006	氣 気 001
澁 渋 047	權 権 042	榮 栄 037	禮 礼 032	齊 斉 027	證 証 022	國 国 017	賣 売 012	驛 駅 007	學 学 002
攝 撮 048	檢 検 043	嚴 厳 038	來 来 033	實 実 028	發 発 023	會 会 018	讀 読 013	濱 浜 008	醫 医 003
齒 歯 049	雜 雑 044	單 単 039	佛 仏 034	壽 寿 029	萬 万 024	鐵 鉄 019	經 経 014	聲 声 009	關 関 004
斷 断 050	碎 碎 045	譽 誉 040	總 総 035	圓 円 030	眞 真 025	藝 芸 020	應 応 015	團 団 010	櫻 桜 005

本字を知る楽しみ 一、六五〇圓

漢字本来の意味や成り立ちをより正しく表現する「本字」から百文字を厳選し、略字と比較しながら漫画で楽しく憶えられます。一般書店では販賣していませんので、文字文化協會まで直接御申込下さい。
<http://www.pcc.or.jp>



本字を知る楽しみ 〔甲骨文・金文〕

安東麟・著

「本字を知る楽しみ」で紹介した百文字を、甲骨文や金文まで辿って解説します。電子書籍として近日發賣豫定です。

「声」

「声」字には、石の楽器「磬」が含まれています。磬石とは、複数の石の板を吊り上げて、棒で叩いて旋律を奏する打楽器です。甲骨文「聲」字を見ますと、上から下がった磬と棒を持つ手の形で、磬を撃つ形です。伝世文献にも、石を撃つ無うとあり、また、磬石とするために、音の良き石を山から産出したという記述があります。甲骨文「声」は、「聲」に「耳」の形が加えられ、磬の鳴る音を「ん」という意味を表しています。

甲骨文「聲」

磬の長い棒

上から吊り下げられた磬

第百八回 國語講演會

令和三年十一月六日 (土)

於 日本俱樂部 大會議室

(國際ビルヂング八階)

■講演會 午後一時〜三時四十五分

「『本字を知る樂しみ』〜字源解説と古代文字の揮毫を終へて〜
甲骨文、金文、そして、白川靜氏の『字統』について。」

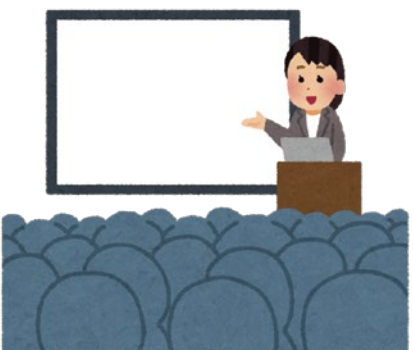
講師 安東 麟 (古代文字書家)

東京にて、甲骨文・金文を探究しつつ漢字のもとを學ぶ書の教室を展開。
芸術新聞社『墨』二〇一九年七、八月號『甲骨文字は面白い!』の解説を
擔當、福井縣主催の白川靜一〇〇周年講演の大字揮毫がある。

「日本語と朗讀」

講師 橘 由貴 (公認心理師 朗讀療法士)

心理師として、心の病からの回復、豫防の有効な方法として「朗讀療法」を提唱。醫療、
福祉、教育の現場で實踐。また語り手として主にNHKで朗讀番組、ドキュメンタ
リー、ラジオドラマ、教育番組に多數出演。独自の舞臺朗讀でも國內外にて展開。



■茶話會 午後四時〜五時半

■會費 (郵便振替又は當日拂)

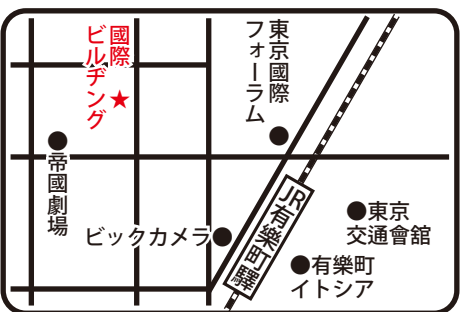
講演會 二、〇〇〇圓 茶話會 一、〇〇〇圓



○非會員の方も歓迎致します。皆様の御友人御知人も是非御誘
ひ下さる。

○座席數や配布資料の印刷部數等の把握の爲、可能なら講演會・

茶話會の各参加人數を左記へ事前に御聯絡下されれば幸いです。



〒100-0005 東京都千代田區丸の内三丁目 1-1
國際ビルヂング 8階 日本俱樂部
☎03-3211-2511

※帝國劇場側の入口からは入れません。御注意下さい。
8階に行く旨、守衛さんに口頭で傳へ、エレベーター
で上がってください。

皆が安心して
参加出来るやうに
豫防接種済の方も含め
マスク着用の御協力を
御願ひ致します

参加申込・御問合せは「國語問題協議會」迄

✉ chair@kokugomondai.kyoto.ac.jp

http://kokugomondai.kyoto.ac.jp



■國語問題協議會とは？

昭和二十一年(一九四六)年の「当用漢字表」「現代かなづかい」に始まる國語改革は、一見「簡單で憶えやすい國語」に見えた反面、根幹をなす原理原則はすつかり亂れ、破壊されてしまひました。

そんな國語の現状を悲しみ、古來より先人達の育ててきた「よりまともな原理原則の國語」を見直し
て立ち返らうと、昭和三十四(一九五九)年に設立されたのが「國語問題協議會」です。毎年會誌「國語國字」を發行して多くの方々や圖書館等に頒布したり、正統國語についての啓發活動を行つてゐます。